

Clover 第94号

「文化祭を振り返って」

指揮者をする事になってははじめは、あまり乗り気じゃありませんでした。でも、伴奏もめっちゃ頑張ってくれるし、指揮ずれたら歌いながら一緒に振ってくれる人もいるから、みんなのためにもっと上手になりたいと思いました。リズム感とか全然なくて、ズレズレだったけど、それでもみんなが一生懸命歌ってくれて、少しだけ、できるようになりました。本番、指揮をしていると、すごく緊張したけど、1つになっている気がして楽しくなったし、まだ、みんなと歌っていたいと思いました。結果は最優秀クラスに選ばれなかったけど、この3年間で1番良い文化祭だと心から思いました。こんな指揮だったけど、みんなついてきてくれて本当に感謝しています。3-1のみんな、ありがとう。

1組

文化祭が終わって、やっと終わったというほっとした気持ちと終わってしまったなという残念な気持ちと両方があります。しかし、1ミリも悔いはなく全力を出し切りました。取り組みでは、音楽の授業では怒られまくり、クラス練習でも、先生からの声掛けがないとできないような日々が続きました。しかし、指揮者や伴奏者の子が一生懸命頑張ってくれていることを全員が理解するようになってから、心が1つになり、今日、今までで最高の歌を届けることができました。今となっては私は、このクラスで最後まで歌うことができ嬉しく思います。感謝と感動しかありません。

1組

私はこの文化祭は今までで一番良くて、楽しかったです。取り組みの最初の報はよく、あまり良くなかったというけど、私は良かったと思います。もちろん、最初からすごく良かったわけではないけれど、前で皆に指示をしてくれている人に協力する人や、「頑張ろ」という発言をしてくれる人がいて、クラスの練習の雰囲気はどのクラスよりも良かったと思います。本番では、クラスの目標だった最優秀賞は取れませんでしたけど、誰ひとり落ち込むことなく、いつも通り、明るくて先生も巻き込んで、クラスの皆で盛り上がり笑っていて、とても良いクラスだと思いました。もう残り少ない中学校生活だけど、この文化祭の取り組みを活かして、もっと良くなるようにしたいです。

2組

今回の文化祭は自分の中では、一番力を入れて取り組むことができたと思います。一年生と二年生では、なぜか歌うことは抵抗があり、口を開けることができなかったけど、今のクラスでは、クラスメイトにも恵まれて、やる気を出させてくれて、歌うことができました。自分の中では、一番努力して、この文化祭まで取り組んできたので、最優秀賞を取れなくて本当に悔しかったです。でも、最優秀賞を取ったクラスだけがすごいのではないと思うし、そこまでの努力の方が大切だと思うので、良い取り組みができたと思います。

2組

最後の文化祭、心からやりきったと言えます。正直、一番最初のクラス練習は男子も女子も互いにまとまっていなくて、不安でした。でも、先生の言葉やパートリーダーのおかげで、少しずつだったけど、確実にまとまって行って、きれいな歌声になっていきました。そして、不安な本番当日に、クラス皆へのメッセージをみて、元気になりました。結果は最優秀賞を取れなかったけど、でも私は、最優秀賞を取るよりも、もっと大事なクラスの絆が深められたことが、嬉しかったし、先生も泣いてくれて、「ああ、音楽の先生が泣くほど3年間で成長したんだなあ」と思いました。最後の最後で全力疾走できました。

3組

最高の取り組みになったと思います。始めの頃には手を抜いている人も少なくありませんでした。ですが、練習の回数を重ねるごとに3組全員が『最優秀賞』という同じ目標に向かうことができたからこそ、団結することができたと思います。文化祭当日の歌は、いつもより少し力が入ってしまい最高だったとはいえないけれど、その分全員が頑張ろうと思っていた印ではないでしょうか。きっと私はそうだと思います。たとえ最優秀賞が取れなかったからと言って落ち込むことはない。なぜなら全員が輝くことができたからです。

3組

